



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 日新製糖ホールディングス株式会社
 コード番号 2117 URL <http://www.nissin-sugar-hldgs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務総括責任者 (氏名) 川口 多津雄
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL (03)3668-1293

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,533	—	2,076	—	2,398	—	10,495	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 10,535百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1,411.06	—
23年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,937	43,150	81.1
23年3月期	—	—	—

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 42,948百万円 23年3月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,700	—	2,500	—	2,800	—	10,700	—	1,453.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	7,557,961 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	196,021 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	7,438,216 株	23年3月期3Q	— 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(その他特記事項)

・当社は、平成23年10月3日付で、日新製糖株式会社と新光製糖株式会社の経営統合により、両社の完全親会社・共同持株会社として設立されました。この結果、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績および前年四半期実績はありません。

・設立に際し、日新製糖株式会社を取得企業として企業結合会計を適用しているため、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、日新製糖株式会社の当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)の連結経営成績を基礎に、新光製糖株式会社の当第3四半期会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)の連結経営成績を連結したものとなります。

・当四半期連結会計期間は、当社設立後最初の四半期会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しております。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2	サマリー情報（その他）に関する事項	3
	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成23年10月3日、ともに精糖事業を主力事業とする日新製糖株式会社と新光製糖株式会社の経営統合により、純粋持株会社として設立されました。

当社の連結経営成績は、日新製糖株式会社の当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）の連結業績と、新光製糖株式会社の当第3四半期連結会計期間（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）の連結業績を連結したものであります。なお、当第3四半期決算短信は、当社の設立後最初に提出するものとなるため、決算数値の前年同期との対比は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災による深刻な影響を受けた後、生産活動の立ち直りや復興需要の本格化の動きがみられたものの、欧州債務危機の深刻化による世界経済の減速や円高などの企業収益環境の悪化を背景に、景気回復への足踏み状態が続きました。

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の帳入れ価格）において1ポンド当たり27.44セントで始まり、主要輸出国タイにおける予想外の大幅増産による需給逼迫懸念の後退もあり、5月上旬にかけ20.47セントまで下落しました。その後は、最大輸出国ブラジルにおける生産量の相次ぐ下方修正などから、7月下旬に31.34セントの高値となりましたが、タイ、インド、ロシア、欧州での次期生産量の大幅増産見込みに加え、欧州の債務問題や米国の景気減速を背景にした投機資金の流出により下げ基調となり、23.30セントにて当第3四半期連結累計期間を終了しました。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）は、上白糖1kg当たり189～190円で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受け、7月末に4円下がり185～186円となりました。その後、海外原糖相場が上昇に転じたことを受け、10月下旬に190～191円と5円上昇し、このまま当第3四半期連結累計期間を終了しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,533百万円、営業利益は2,076百万円、経常利益は2,398百万円となりました。また、特別利益に負ののれん発生益を8,904百万円計上したことなどにより、四半期純利益は10,495百万円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（砂糖その他食品事業）

日新製糖株式会社におきましては、家庭用製品の出荷量は前年同期を下回りましたが、液糖をはじめ業務用製品が堅調に推移し、砂糖全体で前年同期並の販売量となりました。その他の甘味料については、果糖の販売量が、夏期における飲料メーカー向けの需要増から前年同期を大きく上回りました。

また、当第3四半期連結会計期間より新光製糖株式会社が新たに加わりました結果、売上高は34,493百万円、セグメント利益は1,821百万円となりました。

（その他の事業）

ドゥ・スポーツプラザを運営する健康産業事業は、若年層を中心とした利用者の減少や、価格競争の激化といった厳しい状況が続きました。港湾運送事業では、合板などの建材が、震災の影響による国内品から輸入品への代替需要などから取扱高が増加し、冷蔵倉庫事業の取扱高についても順調に推移しました。また、合成樹脂等販売事業は、主力の合成樹脂において、安価な海外製品の輸入増により、取扱高が減少しました。

その結果、その他の事業の合計の売上高は4,039百万円、セグメント利益は259百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、52,937百万円となりました。うち、流動資産は23,512百万円であり、主な内容は有価証券8,052百万円であります。また、固定資産は29,424百万円であり、主な内容は有形固定資産14,228百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、9,787百万円となりました。うち、流動負債は6,772百万円であり、固定負債は3,014百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、43,150百万円となりました。なお、自己資本比率は、81.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、持分法による投資利益が当初の計画を上回る見込みであること、および負ののれんの金額が確定したことから、経常利益および当期純利益を平成23年10月3日公表数値より、以下のとおり修正いたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,700	2,500	2,600	10,200	1,385.45
今回修正予想 (B)	52,700	2,500	2,800	10,700	1,453.42
増減額 (B-A)	—	—	200	500	
増減率 (%)	—	—	7.7	4.9	

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,110
受取手形及び売掛金	6,668
有価証券	8,052
商品及び製品	3,387
仕掛品	301
原材料及び貯蔵品	1,305
その他	688
貸倒引当金	△1
流動資産合計	23,512
固定資産	
有形固定資産	
土地	8,531
その他(純額)	5,696
有形固定資産合計	14,228
無形固定資産	
投資その他の資産	
投資有価証券	13,165
その他	1,849
貸倒引当金	△107
投資その他の資産合計	14,907
固定資産合計	29,424
資産合計	52,937
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,268
短期借入金	1,100
引当金	147
その他	2,257
流動負債合計	6,772
固定負債	
引当金	785
その他	2,228
固定負債合計	3,014
負債合計	9,787

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	7,000
資本剰余金	12,020
利益剰余金	22,454
自己株式	△292
株主資本合計	41,183
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△73
繰延ヘッジ損益	15
土地再評価差額金	1,823
その他の包括利益累計額合計	1,765
少数株主持分	202
純資産合計	43,150
負債純資産合計	52,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	38,533
売上原価	31,338
売上総利益	7,194
販売費及び一般管理費	5,118
営業利益	2,076
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	29
持分法による投資利益	287
その他	20
営業外収益合計	345
営業外費用	
支払利息	9
その他	13
営業外費用合計	22
経常利益	2,398
特別利益	
負ののれん発生益	8,904
その他	43
特別利益合計	8,948
特別損失	
固定資産除却損	9
投資有価証券評価損	9
ゴルフ会員権評価損	5
特別損失合計	23
税金等調整前四半期純利益	11,323
法人税等	827
少数株主損益調整前四半期純利益	10,495
少数株主損失(△)	△0
四半期純利益	10,495

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	10,495
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△127
繰延ヘッジ損益	△11
土地再評価差額金	179
持分法適用会社に対する持分相当額	△0
その他の包括利益合計	40
四半期包括利益	10,535
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	10,536
少数株主に係る四半期包括利益	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月3日付で、日新製糖株式会社と新光製糖株式会社が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は7,000百万円、資本剰余金は12,020百万円、利益剰余金は22,454百万円となっております。なお、発行済株式数は7,557千株となっております。

また、日新製糖株式会社および新光製糖株式会社は、平成23年10月31日に開催した臨時株主総会において、日新製糖株式会社が保有する当社株式165,710株および新光製糖株式会社が保有する当社株式30,000株を、それぞれ平成23年11月7日をもって当社へ現物配当することを決定いたしました。これに伴い、当社は同日付で195,710株の自己株式を取得したため、単元未満株式を含め、自己株式は△292百万円となっております。